

ウナギの生態解明等の研究

東京大学海洋研究所教授 塚本勝巳

科学研究費補助金(科研費)

DNA解析と日齢査定によるウナギの接岸回遊機構の解明(基盤研究(B)1996~1997)

海洋生命系のダイナミクス(学術創成研究費2000~2004)

日本学術振興会
未来開拓学術研究推進事業

●ウナギのライフサイクルの解明と制御」に共同研究者として参加(1997~2001)

農林水産技術会議
農林水産省委託プロジェクト研究
●ウナギ及びイセエビの種苗生産技術の開発(2005~2008)

ニホンウナギの産卵場(西マリアナ海嶺付近)を発見。天然海域の生態情報の提供によるウナギの大量種苗生産技術の開発への貢献。



2005年6月の新月,マリアナ諸島西方の海山域で採集されたニホンウナギのプレレプトセファルス(前期仔魚)。全長5mm程度で孵化後5日目。このプレレプトセファルスの大量採集により,ニホンウナギの産卵場は西マリアナ海嶺の南端の海山域であることが特定された(Tsukamoto 2006 Nature)。